

2 「確かな学力」

(教職員自己評価)

(保護者アンケート)

(自己評価)

(学校関係者評価)

項目	番号	質問事項	7月		12月		番号	質問事項	7月		12月		評価説明	質疑応答・意見交換等
			平均	3・4	平均	3・4			平均	3・4	平均	3・4		
校内研修	9	校内研修の体制が確立され、計画的に行われていますか。	3.6	100	3.6	100	7	子どもは、意欲的に授業にのぞんでいる。	3.2	83	3.2	83	<p>本校では、「確かな学力」は「生きる力」の基盤となる重要な要素であると考え、校内研修と学力向上推進の取組を通して行っています。</p> <p>校内研修では、テーマを『『確かな学力』の定着と活用する力の育成～根拠を示し、自分の考えを伝える力の育成を通して～』と設定し、全校体制で授業改善に取り組みました。取組の内容としては、年間に2回(6月の提案授業、11月の検証授業)全職員で参観する授業を行い、本校の授業スタイル等を共通理解する場を設定しました。また、教科部会を充実し、「一人一授業」(6月～12月)を全職員が実施し、指導法の改善(考え、学び合う授業の確立)を行いました。</p> <p>学力向上推進の取組として、「学びプロジェクト」、「心プロジェクト」、「学習環境プロジェクト」の3部会に分かれ、それぞれ特化した取組を組織的に行いました。</p> <p>今年度は、学年主任や学級担任の協力の下、生徒会学習委員会を中心に「家庭学習」を推進し、学習習慣の定着を図りました。家庭学習強化月間には、生徒の優秀な家庭学習ノートを展示し、質の高い家庭学習について提示しました。次年度は、これをリーフレットにし配布する予定です。</p> <p>5月、11月に行われた「全国学力学習状況調査」や「学びのたしかめ」で、3年生が全ての教科で県平均を上回る事ができました。英語が県平均を大きく上回ることができ、宜野湾市の取組が功を奏しています。しかし、1・2年生は、国語、数学、単元によって落ち込み部分があるので、レディネスを整える取組が今後の課題になります。</p> <p>確かな学力の総括評価としては、肯定的な評価4と3の合計が「92.4%」、平均値が「3.3」で、概ね目標を達成したと評価しました。</p>	
	10	1人1回以上の授業を公開し、「授業力」の向上に努めていますか。	3.4	94	3.6	100	8	子どもの毎日の家庭学習時間(塾の時間を含む)は、A:2時間以上、B:1時間程度、C:30分程度、D:やらない	2.9	68	3.0	73		
学習指導	11	「めあて」「まとめ」「振り返り」の時間を確保し、めあてと正対した「まとめ・振り返り」を実施していますか。	3.3	97	3.3	100	9	子どもは、宿題や家庭学習は、必ず提出している。	3.3	84	3.3	82		
	12	他者と交流することにより、思考を深めたりする対話的活動を意識して設定していますか。	3.2	82	3.1	94	10	子どもは、自分の特技や長所(良いところ)がわかる。(言える)	3.1	76	3.1	78		
	13	ベル始業、終業の50分完結型の授業を意識して実践していますか。	3.4	97	3.5	100	11	子どもと、将来の夢ややりたい職業(進学先)についてよく話している。	3.0	73	3.0	70		
	14	宿題を出す際は、授業との連動や生徒に身につけさせたい力を意識して課題を設定していますか。	3.3	97	3.2	93	12	先生方は子供の視点に立ったわかりやすい授業づくりを工夫している。	3.2	89	3.2	90		
	15	ICT機器を有効に活用していますか。	3.3	91	3.3	88	14	学校では、将来の生き方や職業、高校のことなど、進路学習がよく行われている。	3.1	87	3.3	89		
キャリア情報	20	各教科、領域において、勤務観・職業観を身に付けさせるキャリア教育の実践が行われていますか。	3.2	100	3.0	94	(生徒アンケート)							
	21	進路についての情報を生徒や保護者に伝えていますか。	3.4	91	3.3	94	7	私は、ベル始業や黙想などを守り、学習用具の忘れ物がない。	3.4	93	3.5	91		
総括評価	25	計画的に、情報教育を行い、情報活用能力や情報モラルを育成していますか。	3.2	91	3.1	88	8	私の毎日の家庭学習時間(塾の時間を含む)は、A:2時間以上、B:1時間程度、C:30分程度、D:やらない	3.1	77	3.0	71		
	26	図書館利用を活発に行っていますか。	3.0	76	2.8	69	9	私は、授業の宿題や家庭学習などは、必ず提出している。	3.3	85	3.2	79		
							10	私は、自分の特技や長所(良いところ)がわかる。(言える)	2.9	69	2.9	68		
							11	私は、将来の夢ややりたい職業(進学先)について考えている。(言える)	3.1	76	3.1	74		
						12	普天間の授業は、わかりやすい。	3.2	88	3.2	85			
						14	学校では、将来の生き方や職業、高校のことなど、進路学習がよく行われている。	3.2	83	3.5	91			

【総括評価】

	7月	12月	年間
平均	3.3	3.3	3.3
4と3	92.3	92.5	92.4

: 2学期高評価の項目
 : 評価が低い項目

【諸検査の結果】







本校平均点 (県との比較)	1年学びの確かめ			2年学びの確かめ			3年全国学力・学びの確かめ					
		国語	数学	英語		国語	数学	英語		国語	数学	英語
	6月	48.0 (0)	53.6 (-0.3)			6月	58.0 (+0.1)	41.3 (-1.5)	62.7 (+4.2)	5月	60.6 (+4.2)	51.7 (+0.3)
11月		40.3 (-0.3)			11月		47.0 (-0.6)		11月		34.8 (+2.0)	

成果
 (1) 毎月、学力向上推進部会(校長、教頭、学推、研究主任、教科主任)を開催し、学推の計画や方針を共通理解できた。
 (2) 指導と評価に関する校内研修を通して、評価の仕方を共通理解することができた。
 (3) 校内研修を計画的に進め、一人一授業を通して、教師の考える力や学ぶ力が育成できた。
 (4) 定期的に「校内研だより」を発行し、一人一授業の様子や授業改善の方法を共通確認できた。
 (5) ICT端末を用いて、興味・関心を持たせるような授業展開ができた。
 (6) 家庭学習の取組が学習委員、各教科、学級担任によって推奨され、家庭学習時間が増えている。(特に3年生)

課題
 (1) 学んで終わりの授業からの脱却、アウトプットする場面や振り返りの充実が必要。
 (2) 感染症対策をしつつ、ペア・グループ学習等の学習形態の充実。
 (3) 間違えてもいいから問題に取り組もうとする「粘り強さ」の育成。
 (4) 生徒に「学習したくなる、せざるを得ない」と思わせる教師の導き。
 (5) 各教科担任裁量になっていることによる教科面談の不統一。
 (6) 質の高い家庭学習のさせ方。
 (8) 外部人材や地域教育資源の活用。

成果や課題に対する取組
 (1) 教科部会を充実させ、指導案検討・検証授業(一人一授業)・授業反省会をセットで行い、授業改善に取り組む。また、他教科の一人一授業も参観し、工夫点を自分の授業に取り入れる。(研究主任、教科主任、全職員)
 (2) ペア・グループの作り方や班活動の方法を研究・工夫する。(研究主任、全職員)
 (3) 「しっかり教え、じっくり考え、させてみて、たっぷり褒める。」(PPⅡ)をスローガンに、自己肯定感を高める取組を組織的に実践し、子ども達に主体性や達成感を持たせる。(研究主任、全職員)
 (4) 年間を見通して、学力向上推進計画を設定し、諸学力調査への対応を図る。(学推、研究主任、教科担任)
 (5) 授業と連動した家庭学習を充実させるとともに、家庭との連携を強化する。(学推、研究主任、学級担任、教科担任)
 (7) 家庭学習の質を向上させるため、模範となる生徒の家庭学習ノートをリーフレットとして配布する。(学推、研究主任、全職員)
 (8) 授業をキャリアと結びつけ、教科・領域の学習が社会とつながっていることを常に意識させる。(研究主任、キャリア教育担当、全職員)
 (9) GIGAスクール構想に基づくICT端末を活用した授業づくりを推進する。(情報担当、研究主任、全職員)
 (10) 臨時休校や不登校生徒に対応するオンライン学習・オンライン授業の充実を図る。(情報担当)

【学校運営協議会】
 ・地域の高校とのつながりも継続させてほしい。学習支援だけでなく、部活の交流など、中高の交流で地域貢献ができるといい。
 ・普天間一区では、小学生向けの勉強会を実施している。中学生サポーターを募集しているので、参加してほしい。

活動状況	(1) 夢をかなえるレインボー6	(2) 一人一授業	(3) ICT端末による学び合い	(4) 家庭学習ノートの工夫点	(5) 「教科面談」で学習の進捗状況	(6) 校内研修(学び合い)
	 <p>全ての教科で、「夢をかなえるレインボー6」を意識し、学習規律の徹底を行いました。また、めあてと正対したまとめ・振り返りを行い、「普天間中基本授業スタイル」を確立させました。</p>	 <p>6月～12月までの期間に、全職員が1回以上公開授業(研究授業)を行いました。授業後は、教科で授業研究会をもち、「授業改善」に努めました。</p>	 <p>今年度から本格導入となったICT端末を活用して、グループで学び合い学習をしたり、プレゼンテーションをしたりして学び合いを行っています。また、ICT端末で一斉に課題を提示したり、先生に提出したりと活用の幅が広がります。</p>	 <p>家庭学習強化月間に「こんな家庭学習のまとめ方」と題して、学習委員会が生徒玄関前の掲示しました。友達のがんばりノートから工夫した点や良い点ののっているページをカラーコピーして全校生徒に紹介し、家庭学習の質の向上を目指しました。</p>	 <p>今年度から観点別評価が3観点になることを受けて、全教科で学期に1回、「教科面談」を実施し、評価について確認する機会を設けています。提出物や授業の取り組み等個々の学習状況を教科担当と一緒に振り返ります。</p>	 <p>夏休み期間中、山内中学校から現役の国語教師、高江洲亮先生をお招きして、「指導と評価」についての研修会を行いました。「学びに向かう力」をどのように評価していくのか具体的な場面を設定して、先生方で学び合いました。</p>